

5月

高野長英記念館の草木

水沢公園のツツジを受け継ぎ、当記念館の庭でも草木の生命が感じられます



シラン

*「贈正四位高野先生碑」の（碑文は師儒者広瀬淡窓の門人谷口中秋の撰によるものです）左側のハナカイドウの根元に群生しています。ちなみにシランの花言葉は「あなたを忘れない」「変わらぬ愛」です。長英の鎖国日本に対する思いや願いが偲ばれます。（5月23日 撮影）



アヤメ

*敷地内東側と西側の土手沿いにサツキが連なっています。その傍らに、アヤメが可憐に咲き誇っています。丁度見ごろとなっています。（5月23日 撮影）



サツキ

*水沢公園のツツジがその華やかさを役割を終え、華やかさのバトンをサツキが引き継ぎ、次々と花を咲かせています。（5月23日 撮影）



*長英は飢饉対策として著書「救荒二物考」で馬鈴薯の栽培を勧めています。4月17日に植付け、1か月で大きく成長しています。（左）

*アジサイの開花が待ち遠しいです。（右）